

九州支部総会に220人

機動隊員等を励ます会

【福岡】機動隊員等を励ます会九州支部は5月31日、福岡市の博多サンヒルズホテルで第41回九州支部総会を開催し、約220人が参加した。自見修真支部長（自見産業社長）は「今年1月15日から2日間、新日鉄住金さんの遊休地でタフな訓練が行われた。警固断層直下型地震が発生した設定のもと、警察・



あいさつする自見支部長

機動隊をはじめ消防や自衛隊、行政などの部隊・部署が集まる中、いかに指揮命令系統を確立するか、というマネジメントを間近に見て、私個人としても勉強させられた。また、現場力にも感動した。訓練では水点下の中、機動隊の皆さんが現場を支えていた。救いたい命がある半面、危険にさらされる命があり、そのせめぎ合いが見て取れた。もうひとつ、救助者に対し、大声で励ます姿を見た。励ましの声は人の命を救い、届けたい声は必ず届くことを学んだ」と訓練の感想を伝えた

あと「隊員の皆様と会員同士が交流し激励し合おうと呼びかけた。羽矢惇・機動隊員等を励ます会理事長は「会が発足した1970年代と現代では事件や犯罪は異なるが、体を張って治安を守る任務は一緒。今後フクビールドカップや東京オリンピックなどが

控えている。プロとして訓練を積み上げ、国民の期待に応えてほしい」と九州の機動隊員を激励した。来賓として門田渉・九州管区警察局長と樹下尚・福岡県警察本部長があいさつし、奥苑一成・新日鉄住金九州支店長が乾杯を発声した。